

NEWS RELEASE

No. 13-16

2014年1月20日

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

2012年度本科通信講座の成績優秀者を表彰

2012年度本科通信講座（4クラス編成）の修了認定を行い、各クラスの成績上位10%以内の46名を成績優秀者として表彰した（成績優秀者は後掲）。2012年度本科通信講座の終了時の登録者数は510名、修了者数は455名で修了率は89.2%であった。（前年は88.3%）

本科通信講座は、損害保険の基本的・体系的な知識の習得を目的としており、レポート課題8科目の提出とスクーリング（講義と試験、ワークショップ）への出席が修了要件となる。

最終カリキュラムであるスクーリングは、昨年7月～9月に東京の損保会館にて、各クラス二日半の日程で実施され、全国から計505名が参加した。

今期のスクーリングでは、特別講義に新たに「わが国損害保険の軌跡－歴史から学ぶ損害保険事業の社会的意義－」を組み入れた。

法政大学人間環境学部の長谷川直哉教授によるこの講義では、明治の黎明期から現代に至るまでの間に、わが国の損害保険が各時代の社会の変化にどのように対応し、ビジネスを変容させてきたかという解説があった。

その中で、企業活動の根本理念としての「信用」の重視、データに基づいた客観的・合理的な意思決定、共同救済機関である損害保険会社の社会的義務の実践という各務謙吉氏の教えを挙げ、後に、同氏により学識と教養を備えた後継者を養成してわが国損害保険事業を世界一流の水準に引き上げることを目的に損保総研が設立され、この本科講座の今につながるという経緯にも触れた。この本科講座は通算で61年目を迎えるが、本質は今も昔も変わらないということ、損害保険事業に携わる受講生へのメッセージとして贈り、締めくくった。

受講生からは、「損害保険業界が今後発展していくためのヒントや、二度と繰り返してはならない過去の過ちについて学ぶことができた。入社以前の損害保険業界については、分かっているようで実は知らないことが多く今回の講義は現在に担当職務を振り返る意味で非常に有益だった。」「日本の損害保険業界の立ち上げ・発展に寄与したのが自分たちと同世代の人であったと知り、もっと広く深い視野をもって仕事に取り組む必要性を感じた。」、

「損保業界は社員一人ひとりの人格、行動による信頼の上に成り立っているものであると再認識した内容だった。」「明治時代には同年代の人物が国際的に活躍をしていたと聞いて、自分も頑張っていかななくてはと思った。」というコメントがあった。

スクーリングのその他のプログラムについては、「ワークショップで学んだ考え方の分析技法や思考の広げ方を普段の業務でも意識的に活用しようと思う。」「ワークショップで同業他社の方々との一つのテーマを議論することはとても有意義だった。全く違う視点でものを考える人と接することで自分自身を見直す機会になった。今後も継続して欲しいと思う。」という声も寄せられている。

また一昨年夏の開講以降、約9ヶ月間のレポート課題への取り組みや、Web課題によるスクーリングまでの自主学習期間を含めた全過程を振り返り、「業務との両立や休日を返上して行った各レポート課題への取り組みは辛い部分もあったが、達成感や充実感もあり、とても充実した1年間になったと感じる。」「保険全般を改めて学ぶ機会をいただき、大変感謝している。これからの復習が重要と感じており、日々の実務と並行して都度基本に立ち返ることを忘れず、これまでの学習をしっかり役立てていきたいと思う。」「保険に関する一通りの学習ができる素晴らしい制度であり、今後も永続的に実施願いたい。」「他業界から転職し、業界として底上げを図る体系的で非常に良い仕組みが用意されている事に感心した。」「今振り返ると、この本科通信講座があったからこそ大きく成長できたと感じる。単純に保険を売るのではなく、これが何のために、そしてどのような目的で成り立っているのか、背景にはどのような流れがあったのかを自発的に考えるようになり以前よりも業務に対する「使命感」が深まった。受講して本当に良かったと思う。」という声が寄せられた。

損保総研は、本科通信講座がより有益な学習機会となるよう更に教育の品質向上に努めていく。

【2012年度本科通信講座の受講スケジュールおよび受講科目】

クラス	レポート指導期間	スクーリング
A組	2012年8月～2013年4月	2013年7月10日～12日
B組	2012年8月～2013年4月	2013年8月5日～7日
C組	2012年9月～2013年5月	2013年8月21日～23日
D組	2012年9月～2013年5月	2013年9月4日～6日

レポート科目：保険総論、保険契約法、保険業法、海上保険論、リスクマネジメント、損害保険市場論、再保険論、事故対応実務の基礎

スクーリング科目：金融の基礎知識、火災保険論、自動車保険論、新種保険論、損害保険会計

コンプライアンス（特別講義）、わが国損害保険の軌跡（特別講義）、

※ 成績優秀者の公表につきましては、「掲載日を損保各社にあらかじめ連絡する」ということで了承を得ております。記事として掲載頂ける場合は、掲載予定の日付をtanaka@sonposoken.or.jpまでご連絡頂きたく、大変お手数ではございますがよろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
教育研修部 田中 敬子 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。